

いわさきちひろと奥村まこと・生活と仕事

展覧会期：2022年6月3日(金)～2022年9月8日(木)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
今後、会期やイベント情報が変更となる可能性があります。
最新の情報はギャラリーエークウッドの公式サイトをご確認ください。

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ギャラリーエークウッドでは6月3日から9月8日まで、「いわさきちひろと奥村まこと・生活と仕事」を開催いたします。

青春時代に戦争を体験し、結婚も仕事も自分で選ぶことは難しかった時代、戦後自らの意志で仕事をし、愛する家族との生活をいとおしみながら、やさしいタッチの絵画で、日々の暮らしの大切さを伝えた、いわさきちひろ(1918-1974)。ちひろより12年遅れて生まれた奥村まこともまた、女性建築家の草分けとして日々の暮らしからの発見を夫・奥村昭雄氏とともに住宅の設計に生かしました。1966年にいわさきちひろは、黒姫高原に児童文化村を構想した信濃町町長の松木重一郎の招聘で、黒姫に山荘を構えます。その設計を交流のあった、川井千恵子(編集者)の紹介で、奥村まことに依頼します。本展は、二人が出会う黒姫山荘を中心に、自立した二人の女性の仕事と生活の一場面を紹介いたします。

奥村まこと(1930-2016)は練馬区に生まれ育ち、自由学園を経て建築家となった女性です。彼女は、女性として初めて東京藝術大学の建築科に入学し、卒業後、恩師である吉村順三の設計事務所に入所します。建築科の先輩であった奥村昭雄と結婚した時には、夫婦間のとりきめを「憲法ノート」に記し、夫婦ともに同じ人間として生活ができるよう、ルールをつくりました。1972年に吉村事務所を退所し、独立しますが、それまでも吉村事務所の仕事とは別に単独でも設計の仕事を受けており、1966年にいわさきちひろの黒姫山荘の設計、そして、1970年にはちひろの上井草の家の増築も担当し、ちひろが亡くなったために使うことはありませんでしたが伊豆のアトリエを、1974年所員と共同設計しています。特に長野県の黒姫山荘は、ちひろにとって、春から秋は「野花亭(やかてい)」、冬は「雪霽亭(せっかてい)」と呼ぶ、特別な場所でした。東京の日常の雑事から離れ、創作に専念ができたこのアトリエで、ちひろは宮沢賢治の『花の童話集』(童心社)や岩崎京子が文を書いた『あかまんまとうげ』(童心社)などの代表作を描いています。

生活の一部が仕事であるというふたりの共通点は、結婚、子育てをしつつ自立した女性の先駆けであるということ。まことは、設計活動を通して、ものの本質を探究し、一方のちひろは、子どもへのまなざしを通して、豊かな自然と世界の平和の継続を願いました。本展では、自らの日常や暮らしを大切に楽しみながらも仕事を存分にしたふたりの女性と生き方にフォーカスし、ふたりの接点である「黒姫山荘」や伊豆のアトリエ、まことの拠点である練馬での暮らしを起点にふたりの仕事と生活への想いが見える資料、ちひろのピエゾグラフ作品などを「ことば」や「スケッチ」とともに展示します。そこからは、女性として、そして人間としての積極的なそれぞれの生きざまが感じられることでしょう。

この機会に貴紙誌にてぜひ記事としてお採り上げいただきたく、宜しく願い申し上げます。



GALLERY A⁺ ギャラリーエークウッド

〒136-0075 東京都江東区新砂1-1-1 TEL : 03-6660-6011 E-mail : gallery@a-quad.jp URL : https://www.a-quad.jp/

敬 具

2022年4月



■企画概要

展覧会名：いわさきちひろと奥村まこと・生活と仕事
会場：GALLERY A⁴（ギャラリー エー クワッド） 〒136-0075 東京都江東区新砂1-1-1
会期：2022年6月3日（金）～2022年9月8日（木）
開館時間：10：00～18：00（土曜、最終日は17：00まで）
休館日：日曜・祝日、8月15日（月）～8月20日（土）
入館料：無料
主催：公益財団法人 ギャラリー エー クワッド
共催：ちひろ美術館
協力：村上藍（奥村まこと研究者 / 『奥村まことの生涯とその設計』著者）、黒姫童話館
お問合せ：ギャラリー エー クワッド事務局 TEL 03-6660-6011

■展示概要

- ・いわさきちひろによる作品*、スケッチ*、身のまわりのもの、着用していた洋服など *ピエゾグラフ
- ・奥村まことによる図面、スケッチ、身のまわりのもの、学生時代のノートなど
- ・奥村まことが設計した、いわさきちひろの黒姫山荘の図面など
- ・関係者へのインタビュー映像

*ピエゾグラフとは

ちひろ美術館では、現時点でのちひろの作品の色合いや風合いをデジタル情報として保存し、最新技術の「ピエゾグラフ」という方法によるデジタルアーカイブと「ピエゾグラフ作品」としての複製に取り組んでいます。耐光性のある微小インクドットによる精巧な画像表現は、繊細な水彩画の再現性を飛躍的に高め、明るい光のもとでの絵の鑑賞を可能にしました。

■関連イベント

□レクチャーと対談

レクチャー「まことの建築」 村上藍（奥村まこと研究者 / 『奥村まことの生涯とその設計』著者）
対談 「まことの生活と仕事」 野沢正光（建築家）、中野晶子（建築家） 進行：田中厚子（建築史家）
日時：2022年6月17日（金）18：00～19：30
場所：竹中工務店東京本店2階Aホール（東京都江東区新砂1-1-1）
定員：70名 要事前申込（先着順）
参加費：無料

□トークショー

トーク1 「ちひろの生活と仕事」 松方路子（ちひろ美術館学芸員）
トーク2 「ちひろと建築」 松本猛（ちひろ美術館常任顧問）
日時：2022年7月7日（木）18：00～19：30
場所：竹中工務店東京本店2階Aホール（東京都江東区新砂1-1-1）
定員：70名 要事前申込（先着順）
参加費：無料
申込：公式HP（<https://www.a-quad.jp/>）の申込フォームよりお申込ください

□ワークショップ

「ちひろの水彩技法体験と絵本の読み聞かせを楽しもう」
日時：2022年8月27日（土）10：00～11：30
場所：竹中工務店東京本店1階Wi²（ワイスクエア）（東京都江東区新砂1-1-1）
講師：松方路子（ちひろ美術館学芸員）
定員：20組 要事前申込（先着順）
対象年齢：5歳以上～（要保護者同伴）
参加費：200円（材料費込）
申込：公式HP（<https://www.a-quad.jp/>）の申込フォームよりお申込ください

新型コロナウイルスの状況により今後中止、変更となる可能性があります。
最新情報は公式HP（<https://www.a-quad.jp/>）をご覧ください。



■広報用画像



a. いわさきちひろ(左)と奥村まこと(右)
所蔵:ちひろ美術館(左)
個人蔵(右)



b. 黒姫山荘でのいわさきちひろ
所蔵:ちひろ美術館



c. 吉村順三設計事務所での奥村まこと
個人蔵



d. いわさきちひろ
黒姫山荘の前にて1966年8月
所蔵:ちひろ美術館



e. 奥村まこと
新婚時代のアパートにて
個人蔵



f. 下石神井の新居予定地で、
いわさきちひろと夫 善明、息子 猛
所蔵:ちひろ美術館



g. 奥村まことと夫 昭雄、娘 まき
個人蔵



i. 奥村まことが設計した、
いわさきちひろの黒姫山荘 立面図
個人蔵



h. 奥村まことが設計した、
いわさきちひろの黒姫山荘
所蔵:ちひろ美術館



j. 奥村まことが設計した、
いわさきちひろの黒姫山荘 平面図
個人蔵



k. 奥村まことが設計した、
いわさきちひろの黒姫山荘 居間
所蔵:黒姫童話館



l. 奥村まことが設計した、
いわさきちひろの黒姫山荘 居間のストーブ
所蔵:ちひろ美術館



m. <わらびを持つ少女>1972年
『あかまんまとうげ』(童心社)より
絵:いわさきちひろ
所蔵:ちひろ美術館



n.<ひなげし>1969年
『花の童話集』(童心社)より
絵:いわさきちひろ
所蔵:ちひろ美術館



o.草花のスケッチ
絵:奥村まこと
個人蔵